

79. <発見！？下水道の神様>

正月には、初詣に行かないと何となく落ち着かないもので、神社や寺に初詣に行かれた方も多いのではないかと思います。さて、年明けの5日、F課長と年始のご挨拶に都内何箇所かを回りましたが、その道中、初詣の話から「下水道ゆかりの神社やお寺というのはあるのだろうか？」という話題になりました。「そういうのは聞いたことがありませんね」ということで、その時は終わったのですが、後になって、ふと思い出してインターネットで「下水 神社」で検索してみました。すると意外にも「下水神社」という項目が何件かヒットしたのには驚いてしまいました。

この「下水神社」は静岡県御前崎市の池新田地区というところに実在する神社だそうです。名前は正しくはどう読むのかは良くわかりませんが、「しもみず」と読むのだろうと思います。というのは、この地域には、他に「上水神社」と「浜水神社」という神社があるそうで、いずれも水神様を祭った神社なので、多分、「下（しも）の水神社」という意味なのだと思います。（もし、読者に御前崎地方に詳しい方がいれば、これで正しいかどうか教えて下さい）

「下水神社」は五穀豊穰の守り神だそうです、インターネットの写真を見ると、堂々たる構えのなかなか立派な神社です。また、毎年10月には、収穫の祭があり、夜間に4台の飾り立てた山車が引きまわされるそうです。

・・・ということで、「下水神社」は下水道とは全く所縁はないようですが、下水道事業に従事する我々としては、その名前には親しみを感じてしまいます。そこで、筆者はある計画を考えました。それは、毎年、晩秋から初冬にかけて行われる技術開発部の旅行会で御前崎に行き、海の幸を堪能した後、「下水神社」に参拝して、一同で下水道事業の益々の発展を祈願するというものです。ただし、この計画に職員の皆さんの賛同が得られるかどうかは、正直なところ全く自信がありません。

< 村上 孝雄 >

※ J S 技術開発情報メール No. 87 号(2009/2/3)に掲載